

2021年度 事業報告

社会福祉法人 芙蓉の家

社会福祉法人 芙蓉の家 令和3年度 事業報告書(案)

令和3年度におきまして、当法人が実施いたしました事業実施の概要は次の通りでありましたので御報告致します。

1. 運営

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業の経営（就労継続B型 松永作業所、徳島作業所）
（共同生活援助 びすけっと、さぼーと）

(ロ) 特定相談支援事業の経営（さぼーと）

(ハ) 老人デイサービス事業の経営（さぼーと、みらくる）

(2) 公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業（さぼーと）

(3) 収益を目的とする事業

(イ) 自立支援型共生ホーム（さぼーと）の設置経営

2. 事業計画の実施状況

A. 法人全体としての取り組み

(1) 新組織の構築と定着（新規事業）

新組織図を作成し、法人の体制を職員全員に認識するように働きかけてまいりました。また、縦横の連携や融和と協調を持った組織作りに励んでまいりました。会議等の在り方によって体制が体感できたのではないかと感じている。十分ではないが、引続き組織の定着を心がけていきたい。

(2) 会議の充実（新規事業）

現状に即した会議の在り方（本部会議・所属課会議・事業所会議）に変更して1年間実施した。当初の目標である月1回の会議の定着化は達成できたと感じている。しかし、最終目標である縦横の連携や融和と協調を持った会議に進化をしていく必要があると感じている。

(3) 資格取得への奨励（新規事業）

当初は賞与で評価をしていく予定であったが、職員表彰規程に新資格取得賞を設定し評価を出すことに代えた。思いだけとかどうしようかに留まっていたものが、自らで資格取得に対するチャレンジ精神が出て資格取得に励んだ。当初の目的は十分に達成した。

(4) 規程の見直しと制定（継続事業）

理事会において規程等の全面または一部改正の提案を行い承認していただきました。また、各規程とも年度末に実施する職員全体会議にて周知をしました。今後も適正に運用します。

B. 各事業所での取り組み

(1) 4S（整理・整頓・清掃・清潔）運動月間（継続事業）

11月を4S運動月間として定着化してきた。各事業所で4Sチェック表をもとに大掃除を行いました。全職員真剣に取り組んでいただき、整理整頓も含め環境整備を行うことができました。

(2) 健康づくりへの強化（新規事業）

ひろしま企業健康宣言事業所として、コロナ禍の中でも体育館を借りてクラブ活動（バドミントン）を実施したり、講師を呼んで勉強会（成人病対策）をおこないました。よって、職員の心身の健康作りに寄与したと考えています。

(3) 内部研修の強化（新規事業）

所属課ごとに1年間のテーマを設定して取り組んでもらいました。職員のモチベーションと質の向上を図っていくことができたと考えます。

C. 施設整備事業と修繕事業（新規事業）

(1) 松永作業所の照明器具の取り換え工事の実施

コロナ感染の疑いがある事象が作業所で発生しましたので、事業所を休業しました。このような状況がいつまた出現するか未透視の悪い中で本事業の着手の決断ができませんでした。作業室や事務所などの照明器具のLED化は見送りました。次年度には、少ない照明器具で今以上の明るさが維持でき、電気代も抑えることができる

この事業を是非実現します。

(2) デイサービスセンターさぼーとのボイラー工事

㈱巴商会によるボイラーの取替工事を3,630,000円かけて2021年4月におこなった。安定した温水の供給ができ、高齢者の入浴介護ができています。

(3) グループホームさぼーと・自立支援型共生ホームさぼーとの入居者確保とグループホームびすけっとの移転

グループホームさぼーと・自立支援型共生ホームさぼーとの満床に向けて取り組んだ。グループホームさぼーとは4人入居し、3室空室であった。自立支援型共生ホームさぼーとは1人入居し1室空室であった。

グループホームびすけっとの移転については、不動産会社等に依頼して情報を集めたが、残念ながら適した施設がなかった。

3. 運営の実施状況

(1) 理事会

①日時 2021年 6月 7日 11時00分 ~ 12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

○第1号議案 令和2年度本部・施設（松永作業所・徳島作業所）・居宅介護支援事業・通所介護事業（さぼーと・みらくる）・自立支援型共生ホーム・相談支援事業・共同生活援助事業の事業報告書(案)と令和2年度法人全体・事業区分（社会福祉事業区分・公益事業区分・収益事業区分）・拠点区分（法人本部拠点区分・高齢拠点区分・障害拠点区分・相談拠点区分・入所拠点区分）の財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)の承認について

○第2号議案 評議員選任・解任委員会の外部委員吉實正博さんの辞任について

○第3号議案 評議員選任・解任委員会の新外部委員藤原裕子さんの就任について

○第4号議案 評議員の任期満了に伴う候補者の推薦について

○第5号議案 役員の任期満了に伴う候補者の推薦について

○第6号議案 法令順守規程（案）の制定と賞与管理規程（案）、表彰規程（案）、給与規程（案）等の一部変更について（井出和人理事長 提案）

②日時 2021年 6月24日 13時00分 ~ 13時20分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

○第1号議案 理事長の任期満了に伴う改選について

③理事会の決議があったものとみなされた日 2022年 3月15日

理事6名中6名全員同意、監事2名中2名全員確認

決議があったものとみなされた事項

○第1号議案 2021年度 収支補正予算書(案)承認の件

○第2号議案 2022年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件

○第3号議案 初代理事長 故井出健治郎を偲ぶ会の実施・報告の承認の件

○第4号議案 利用者預り金規程(案)、虐待防止・身体拘束適正化検討委員会規程(案)の制定の件

○第5号議案 各種規程の一部改正の件

○第6号議案 報告事項の件

○第7号議案 定時評議員会の招集の決定の件

(2) 評議員会

①日時 2021年 6月24日 10時00分 ~ 11時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

評議員総数7人 6名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

○第1号議案 令和2年度法人全体・事業区分(社会福祉事業区分・公益事業区分・収益事業区分)・拠点区分(法人本部拠点区分・高齢拠点区分・障害拠点区分・相談拠点区分・入所拠点区分)の財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)の承認について

○第2号議案 社会福祉充実計画の承認について

○第3号議案 役員任期満了による改選について

②評議員会の決議があったものとみなされた日 令和 4年 3月24日

評議員7名中7名全員同意

決議があったものとみなされた事項

○第1号議案 2021年度 収支補正予算書(案)承認の件

○第2号議案 2022年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件

(3) 監事監査

2021年 5月31日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

監事2名全員出席

審議事項

令和元年度本部・就労継続支援B型事業・居宅介護支援事業・相談支援事業・通所介護事業・収益事業の決算報告(案)、事業報告(案)と財産目録(案)、社会福祉充実計画の確認と監事監査チェックリストに沿った監査

(4) 内部監査

新型コロナウイルス感染症拡大のため実施を見送った。

(5) 報告事項

◎ 指導部

1. 松永作業所

〈訪問確認〉

4/22 クローバーの永井さんが来所。利用者の 君の強度行動障害の状況を確認しに来る。

〈臨時休業〉

9/14~16

新型コロナウイルスの濃厚接触者が利用者に出たので徳島作業所と合同で実施した

〈健康診断〉

2/15~19

利用者全員の体重・身長・視力・血圧・検尿の検査を行った。

9/6~10

身体測定も併せて実施した

2/14~21

利用者健康診断を実施した。

3/11

レントゲン検査を実施した。

〈避難訓練〉

- 6 / 2 徳島作業所と合同訓練を実施した
- 6 / 16 防犯訓練を実施した。
- 11 / 9 徳島作業所と合同訓練を実施した

〈施設行事〉

- 11 / 27 ジェラート工房Doona、せら夢公園、せらワイナリーに遠足へ行く。利用者の参加は41名だった。
- 12 / 28 忘年会でボーリング大会を実施した。

〈施設実習〉

- 6 / 15・16
川崎医療短期大学の1年生2名が実習した。
- 8 / 16~25
県立広島大学の2年生2名が社会福祉実習Iした。

〈グループ別活動〉

- 2 / 6、 2 / 13 (一日作業・誕生日会)、 3 / 13 (一日作業・誕生日会)、 4 / 3 (花見散策、花見会)、 4 / 10 (一日作業・誕生日会)、 5 / 1、 5 / 8 (一日作業・誕生日会)、 5 / 22 (半日作業)、 5 / 29 (半日作業)、 6 / 12 (一日作業・誕生日会)、 7 / 3 (ソーメン流し・誕生日会)、 7 / 10 (一日作業)、 8 / 7 (半日作業・誕生日会)、 8 / 28 (半日作業)、 9 / 4 (半日作業)、 9 / 11 (一日作業・誕生日会)、 9 / 18 (半日作業)、 10 / 2 (半日作業)、 10 / 9 (一日作業・誕生日会)、 10 / 23、 11 / 6 (半日作業)、 11 / 13 (一日作業)、 12 / 4 (半日作業)、 12 / 11 (一日作業)、 12 / 25 (誕生日会・自治会主催:クリスマス会)、 1 / 4 (一日作業・初詣・餅つき)、 1 / 8 (一日作業)、 1 / 22 (半日作業)、 1 / 29、 2 / 5 (半日作業)、 2 / 12 (一日作業・誕生日会)、 2 / 19、 3 / 12 (一日作業・誕生日会・判別懇談会)、 3 / 26 (半日作業・判別懇談会)、

〈自治会・クラブ活動〉

- 4 / 10、 6 / 12、 7 / 3、

〈就労支援セミナー〉

- 2 / 13、 3 / 13、 5 / 8、 6 / 12、

〈職員研修〉

施設外

2/25

「2021年度 広島県東部地区親善球技大会ブロック会議」

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

WEB会議

管理者

2/26

「魅力ある職場づくりのための経験交流会」

公益財団法人 介護労働安定センター 広島支部

WEB会議

統括

3/ 3～10

「職場におけるパワーハラスメント対策セミナー」

広島県社会福祉人材育成センター

Web研修

会計責任者

3/11

「令和2年度第2回広島県知的障害者福祉協会 総会」

広島県知的障害者福祉協会

WEB会議

管理者

4/15

「松永沼隈福祉施設連絡会 はなお 会議」

松永沼隈福祉施設連絡会 はなお

特別養護老人ホーム 鳥還荘

生活支援員

6/22

「2021年度 第1回生産活動・就労支援部会 施設長会議」

広島県知的障害者福祉協会

WEB会議

管理者

7 / 5

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

福山市障がい福祉課

WEB研修

管理者

8 / 4

「令和3年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県障害者支援課

WEB研修

管理者

9 / 27

「令和3年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者

更新研修 演習ファシリテーター研修」

広島県

WEB研修

管理者

9 / 28

「給食施設研修会」

福山市保健所

WEB研修

管理者

10 / 4

「2021年度 緊急時の応援に係るコーディネート機能確保等業務研修」

広島県知的障害者福祉協会

WEB会議

管理者

10 / 8

「健康経営優良法人セミナー」

全国健康保険協会 広島支部

WEB研修

事務長

10/12

「テレワーク時代における法的留意点と労働管理」

広島県・今治市雇用労働相談センター

WEB研修

事務長

10/19

「従業員を守る～利用者なら知っておきたいコロナ対処法及び安全配慮義務～」

広島県・今治市雇用労働相談センター

WEB研修

事務長

11/10

「業務用食品総合展示会」

西原商会

西原商会 福山営業所

事務長 会計責任者

12/6

「育児・介護休業法改正」

広島県・今治市雇用労働相談センター

WEB研修

会計責任者

12/10

「2021年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修」

広島県

WEB会議

管理者

12/17

「第2回生活支援活動グループ交流会」

福山市社会福祉協議会
福山すこやかセンター
管理者

12/21

「生活支援活動担い手講座修了者の集い」
福山市社会福祉協議会
福山市西部市民センター
管理者

1/13

「安全運転管理者等講習」
広島県公安委員会
広島県民文化センターふくやま
統括

1/19

「内海地域ケア会議」
(社福)内海福社会
WEB会議
管理者

1/14

「令和4年度 広島県東部地区親善球技大会 第1回ブロック会議」
「ゼノ」少年牧場
WEB会議
管理者

1/21

「事例にみる試用期間」
広島県・今治市雇用労働相談センター
WEB研修
会計責任者

2/4

「女性の持つジェンダーバイアスについて考える」

広島県商工労働局
WEB会議
生活支援員

2 / 9

「2021年度 第2回生産活動・就労支援部会 施設長会議、
障害福祉サービス等事業者研修会」
広島県知的障害者福祉協会
WEB会議
管理者

2 / 21

「令和3年度 社会福祉法人会計実務研修」
広島県社会福祉協議会
WEB研修
会計責任者

2 / 22

「広島県知的障害者福祉協会福山・府中圏域会議」
広島県知的障害者福祉協会
WEB会議
管理者

3 / 7

「令和3年度 社会福祉実習担当者連絡協議会」
広島県立広島大学 保健福祉学部
WEB会議
管理者 生活支援員

3 / 7

「経営層から見る女性活躍の視点について知る」
広島県商工労働局
WEB会議
事務長

2. 徳島作業所

〈グループ別活動〉

2 / 6 (一日作業)、 2 / 13 (一日作業)、 3 / 13 (一日作業)、
4 / 3 (一日作業・お花見会)、 4 / 10 (一日作業)、 5 / 1 (一
日作業)、 5 / 8 (一日作業)、 5 / 22 (一日作業)、 5 / 29 (一
日作業) 6 / 12 (一日作業)、 7 / 3・10 (一日作業)、 8 / 7・
28 (一日作業)、 9 / 4・11 (一日作業)、 10 / 2・9・23 (一
日作業)、 11 / 6・13・27 (一日作業)、 12 / 4・11・25 (一
日作業)、 1 / 8・22・29 (一日作業)、 2 / 5・12・19・
26 (一日作業)、 3 / 12・26 (一日作業)、

〈臨時休業〉

9 / 14～16

新型コロナウイルスの濃厚接触者が松永作業所の利用者に出たので合同
で実施した

〈避難訓練〉

6 / 2 松永作業所と合同訓練を実施した
11 / 9 松永作業所と合同訓練を実施した

〈健康診断〉

3 / 11 レントゲン検査を実施した。

〈職員研修〉

施設外

7 / 5

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

福山市障がい福祉課

WEB研修

管理者

8 / 4

「令和3年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県障害者支援課

WEB研修

管理者

8 / 27

「第1回 福祉職場の真のリーダーになる」
広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会
WEB研修
管理者

9 / 14・15

「令和3年度 福祉職員キャリアアップ研修（初任者コース）」
広島県老人福祉施設連盟
WEB研修
生活支援員

10 / 19・20

「令和3年度 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）」
広島県発達障害者支援センター
WEB研修
生活支援員

11 / 15

「第2回 福祉職場の真のリーダーになる」
広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会
WEB研修
管理者

12 / 10

「2021年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修」
広島県
WEB会議
管理者

1 / 11・12

「令和3年度 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）」
広島県知的障害者福祉協会
WEB研修
生活支援員

2 / 9

「障害福祉サービス等事業者研修会」

広島県知的障害者福祉協会

WEB会議

管理者

2 / 21

「令和3年度 福祉施設・事業所のクレーム対応研修」

広島県社会福祉協議会

WEB会議

管理者

3 / 15

「改めて、ダウン症について学ぶ。その特性と支援」

広島県知的障害者福祉協会

WEB研修

生活支援員

3 / 26

「令和3年度 職場研修担当者研修」

広島県社会福祉協議会

WEB研修

生活支援員

3. まつなが総合生活支援センター さぼーと

〈避難訓練〉

7 / 15 グループホームさぼーとの利用者・職員で実施した。

11 / 24 自立支援型共生ホームで実施した。

〈グループホーム新規入居者〉

10 / 20 さんが入居した。

〈職員研修〉

施設外

6 / 19

「Q&Aから深める令和3年度介護報酬改定」

広島県介護支援専門員協会
WEB研修
居宅管理者

7/27

「ランチメニュー提案会」
西原商会
西原商会中国福山営業所
事務長、会計責任者

8/7

「福山市における地域包括ケアシステム構築に向けた取組」
福山市高齢者支援課
WEB研修
居宅管理者

8/20

「第32回 令和3年度グループホーム等研修会」
日本知的障害者福祉協会
WEB研修
グループホーム生活支援員

9/5

「適切なケアマネジメント手法」
㈱日本総合研究所・広島県介護支援専門員協会
WEB研修
居宅管理者

9/28

「合同研修会 せん妄状態がある利用者のケア」
福山地区ケアマネジメント研究会・広島県介護支援専門員協会福山
ブロック会
WEB研修
居宅管理者

11/26

「制度理解のための基礎研修 年金制度のい・ろ・は」
福山市社会福祉協議会
WEB研修
居宅管理者

12/17

「相談支援業務関係職員研修会」
福山市社会福祉協議会
WEB研修
居宅管理者

12/21

「第2回自立支援に向けたケアマネジメント研修」
福山市高齢者支援課
WEB研修
居宅管理者

1/28

「第3回自立支援に向けたケアマネジメント研修」
福山市高齢者支援課
WEB研修
居宅管理者

4. デイサービスセンター みらくる

〈避難訓練〉

6/18 利用者・職員で実施した。

11/15 利用者・職員で実施した。

〈職員研修〉

施設外

11/19

「介護事業者が実践すべきハラスメント対策とそのポイント」
福山市 介護保険課
WEB研修
管理者

5. グループホームびすけっと

〈地域活動〉

10/10 町内一斉清掃に参加した。

〈避難訓練〉

11/30 利用者・職員で実施した。

◎事務部

〈事務処理〉

- 3/23 福山市障害福祉課高原課長より松永・沼隈地区の4つの社会福祉法人（ゼノ、虹の会、天和会、芙蓉の家）の理事長が西部市民センターに集められた。「地域生活支援拠点等について」の話を別紙に沿ってあった。福山市はモデル地区として松永・沼隈ブロックで実施したいとのこと。全法人とも了解した。
- 3/26 常勤職員を全員集めて来年度に向けての打ち合わせを18:00より松永作業所にて実施した。
- 4/1 新人の〇〇〇〇、〇〇〇〇の2名がデイサービスセンターさぼーとに着任した。
- 4/18~20 〇〇〇〇によるデイサービスセンターさぼーとのボイラー取替工事を行った。
- 4/20、5/6・13・20・27、6/3 〇〇〇〇の新人研修を行った。
- 5/31 実地での監事監査を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐための3回目の緊急事態宣言が広島県にも発令されたため自宅での監事監査に変更した。
- 5/31 デイサービスセンターさぼーとの介護職員〇〇〇〇さんが退職された。
- 6/10 評議員選任・解任委員会を松永作業所多目的室にて全員参加で10時から行った。
- 6/24 評議員会を松永作業所多目的室にて10時から行った。
- 6/28 広島法務局へ「理事長の重任」と「資産登記の変更」の届け出をした。
- 7/15 グループホームさぼーとの建物1年点検を実施した。小西建築設計（社長）、オキ（中居）と法人（理事長）でチェックする。
- 7/21 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための努力をしてくださった職員へ

慰労の「鰻の蒲焼と1ℓのジュース」を配布した。(～28日)

- 8/29 「井出健治郎を偲ぶ会」をJA福山市葬祭センター柳津ホールにて2部制でおこなう。(1部10時から2部10時50分から12時まで) 8/29 新型コロナワクチン2回接種を全職員が完了した。
- 10/1 デイさぼーとに勤務する介護職員の さんを正式雇用とする。
- 11/1 デイみらくるパート介護職員の さんが産前産後休暇に入る。
- 11/4 2021年度福山市消防競技大会に、 の2名で参加した
- 3/15 17時45分から1時間でさぼーとにてファーマシー薬局より2名の薬剤師が来られ、職員対象に健康作り講習会を実施した。
- 3/25・26 職員の全体会議を実施した。両日とも17:45から19:00の時間で松永作業所食堂にて実施した。
- 3/31 デイサービスセンターさぼーとの介護職員 さんが本日で退職した。

〈保護者会〉

- 4/3 保護者定例会が行われた。
- 5/8 臨時保護者会が行われた。
- 6/12 臨時の総会を開催した。
- 7/10 グループ別保護者懇談会を松永作業所で行った。
- 8/7 グループ別保護者懇談会を松永作業所で行った。
- 9/11 定時総会を実施した
- 11/6 定時総会を実施した

以上

松永作業所

2021 年度事業報告

年度当初 49 名（定員 40 名）でスタート。新規契約 2 名、終了契約 5 名で年度中 3 名減の 46 名となった。利用総数 10,198 名、1 日利用平均 37.9 名、出席率 74%となり、前々年度と 2 年続けての減少となった。これは新型コロナウイルス感染拡大によるものであり 8~9 月の第 5 波、1~3 月の第 6 波が大きく影響した。それ以外にも長期欠席者が数名おり、電話・訪問で状況確認しつつ、出席を促したが出席には至らなかった。今後もコロナ終息を願いつつ長期欠席者への定期的なフォローを行っていく。

送迎については利用総数が減少したにも関わらず、昨年度とほぼ同じ利用回数で、以前送迎ニーズが高いことを示した。

生産活動は、新型コロナウイルスの影響から既受注先の受注量減があったが新規作業の受託や自主作業の菓子製造、地域の生活支援活動でもある草刈りや草取り、資源回収などで年間就労収入は約 874 万円で昨年度より約 50 万円増えた。年 2 回のボーナス（満額 10,000 円）の上、年度末にもボーナスが支給でき、平均月額工賃 12479 円で昨年度より 996 円増額。次年度も引き続き、収入アップを目指したい。

就労・求職活動では一般就労を希望する利用者はいたが、体調不良により出席状況が芳しくない、希望の職種が見つからないなどにより求職活動・職場実習まで至らなかった。今後も就労希望を確認。希望者がいれば就労支援セミナー（研修）を行いつつ、作業を通しての就労スキル取得・定着を図っていく。

余暇活動の一環であるグループ別活動での調理実習は昨年並みに実施。作業後の清掃・洗濯、さぼーと清掃作業などの機会を通して、生活技術習得を行い自信や意欲が高まった利用者も増えた。

季節に応じた花見会や忘年会などの行事も規模を縮小して実施。車に分乗して世羅方面への日帰り遠足も実施、利用者の多く（一部家族）から高評価を受け、数少ない社会・生活体験機会となった。

わいわいフェスタ、ゲタリンピックなどの地域交流行事、介護等体験も全て中止となったが、松永小学校 5 年生との交流会はオンラインで実施でき、短時間であったが貴重な交流機会を持つことができた。また、広島県立大学社会福祉実習生 6 名のうち 2 名を 8 月の第 5 波感染拡大前に迎えることができ、オンライン研修を含めて交流する機会ができた。また、地域の支えあい活動として、資源回収に合わせたゴミ出し支援を実施（登録者 4 名）。地域支援の担い手の一助として活動できた。

外部研修自体がほとんど無くなり、オンライン研修が主流となったが、移動時間を含め、参集する手間が減り参加し易くなった。伝達研修含め、内部研修を継続実施、職員の研鑽・レベルアップを図った。

今後も利用者・職員が協力しながら意欲的に作業・活動に取り組める環境を作り、利用者が様々な活動・体験の機会を得られるように努めていく。

2021年度 松永作業所 実施行事

- 4月3日 花見散策・花見会
- 5月1日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞、軽スポーツなど）
- 6月2日 避難訓練
- 6月16日 防犯訓練
- 7月3日 ソーメン流し
- 7月7日 七夕会
- 7月10日 班別懇談会
- 8月7日 班別懇談会
- 8月16～25日 県立広島大学社会福祉実習（2名）
- 9月6～10日 身体測定
- 10月23日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞など）
- 11月9日 総合避難訓練
- 11月27日 遠足（世羅方面）
- 12月25日 クリスマス会（コンサート）
- 12月28日 大掃除、忘年会（ボーリング大会：自治会主催）
- 1月4日 初詣・餅つき・お汁粉会
- 1月20日 松永小学校5年生とオンライン交流会
- 1月29日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞、軽スポーツなど）
- 2月3日 節分（豆まき）
- 2月14～18日 身体測定
- 2月14日 バレンタインデー
- 2月19日 グループ別活動（調理実習、DVD・音楽鑑賞など）
- 3月11日 レントゲン検診
- 3月12日 班別懇談会
- 3月14日 ホワイトデー
- 3月26日 班別懇談会

毎月 誕生日会

- ・クラブ活動は未実施。
- ・5月東部地区親善球技大会、7月わいわいフェスタ、9月ゲタリンピック・旅行は新型コロナウイルス感染防止のため中止。

2021 年度 徳島作業所 事業報告

2021 年度の徳島作業所は、利用者に対して働く楽しさと収入を得る喜びを感じることが出来る生産活動を提供し、利用者平均工賃 1 万円以上の維持とそれに伴う作業量の増加、また既存利用者の利用定着を図り、1 日平均利用 15 名を重点目標として取り組んだ。

2021 年度は、新規利用者は 4 名と、比較的安定した受け入れができた。そのうち 3 名は他事業所からの依頼となっており、他事業所との連携も順調であるように感じる。今後も他事業所との連携を深めながら、窓口を広く持っておきたい。利用者の利用定着と長期欠席減に向けて、職員の利用者との関わりの強化し、利用者の状況把握に努めた。結果、精神的不安定や体調不良などの変化により早く対応することができ、長期欠席の減少、また利用促進への一助にもつながった。職員全体の努力もあり今年度の利用人数は前年比約 125% 増の 5,013 人、月平均では 83 名の利用増となった。

また、利用者工賃面では、利用者の平均工賃 1 万円以上の維持を目指した。作業の充実度や作業量によっても利用人数が変わってくるので、前年同様既存取引企業との信頼関係強化に努め作業面での充実を図った。既存企業からの受注も安定して受けることができ、総工賃収入としては前年比約 128% 増の約 4,500,000 円、支払い工賃は前年比約 127% 増加し、平均工賃 1 万円以上を維持することができた。ただ、全利用者の工賃アップには至らなかったのは今後の課題でもある。

次に、既存利用者の利用定着を図り、1 日平均利用人数の目標を 15 名としていたが、契約利用人数の増加や利用人数の増加もあり、1 日平均利用は 18.6 人と目標を大きく上回るすることができた。ただ、長期欠席中の利用者、利用終了者 3 名と契約人数も減少しているので引き続き利用者の利用定着を図り、より利用しやすい作業所、魅力ある作業所作りを心がけていく。

2022 年度は作業所の強みの強化と弱みの解消を目指し、より利用しやすい作業所作りを目指していく。また、職員の意識向上と連携を強化し、職員のスキルアップにも取り組んでいきたい。

2021年度 相談支援事業所さぼーと事業報告

1. 契約者について

今年度は10名と契約を結んだ。14名のサービス中止や介護保険への移行などを経て年度当初159名であった利用者は155名となっている。

2. 計画相談支援業務について

計画相談の一連の流れの中で、本人や家族に状況変化があった場合など必要に応じてニーズや課題を考慮しながらサービス等利用計画の変更等を行ったが、対応可能なサービス提供事業者がなかなか見つからないケースもあり広い視野での社会資源の開拓や先を見据えた支援の必要性を感じている。

モニタリング実施期間短縮により一人当たりとの面談機会が増え困難ケースへの対応や各種相談対応への時間確保の重要性が高まっている中、基幹相談支援センター等との連携により抱え込みの回避を行った。

65才を迎えるなど介護保険サービスに移行していくケースに関しては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）と連携し、利用者・およびその家族に負担・不安のないように配慮した。

相談支援事業所連絡会（松永・沼隈地区ブロック会議含む）に定期的に参加し、地域課題の共有・解決に努めるとともに、可能な範囲で地域生活支援拠点の整備に参画した。

コロナ感染症リスクを考慮し、可能な範囲で接触機会削減等に努めた。

3. 来年度について

一定数のサービス中止を見越して、月あたり1人の新規利用者との契約を目安にしていく。

引き続き本人や家族等の状況把握に努めるとともに、一人暮らしで食生活などに支援が必要な利用者に対して、居宅支援（ヘルパー）の導入を促したり居住先の情報提供などを実施していく。

引き続き近隣の相談支援事業所等と連携しながら地域生活支援拠点の整備事業に可能な範囲で対応していく。

引き続き新型コロナウイルス感染症リスクを考慮しながら支援を行っていく。

2021 年度 グループホームびすけっと 事業報告

利用者が地域において共同して自立した日常生活や社会生活が送れるよう、利用者の置かれた状況に応じた援助を行い、経営理念である「自立した暮らしを応援します『for your good life』」に基づいた支援を行うべく事業を継続してきた。開設から4年目経ち、利用者は共同生活の場であるグループホームで落ち着いた生活を営むことができた1年だったように感じる。

日常生活の中で生じる問題等に関してはその都度対応し、月に一度の世話人会議でそれらの情報を共有し、適時支援が提供できるよう意見の交換を行った。業務内容に大きな変更点はなく、前年同様出来ることは自分で行い、服薬管理、掃除洗濯等の声かけなど必要な支援を適時行ってきた。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で検温回数の増加、手洗い消毒の再徹底、食卓にアクリル板の設置など感染症対策に追われた年でもあったが、利用者から感染者を出すことなく、また大きな緊急対応などもなく生活できたことがなによりだと感じている。

6月に1名利用が終了し、しばらく1室空室となっていたが、12月から1名利用を開始し満床となった。昨年同様余暇活動を計画していたが、新型コロナの影響でほとんど開催することができなかったが、火災と地震、洪水を想定した避難訓練を2回行った。まずは火災を起こさないことと、防災意識の向上のためにも今後も継続していく。

新型コロナウイルス感染症の影響で制限が多かった1年だったが、大きなトラブルもなく落ち着いて生活できていたように感じる。引き続き利用者が安定して地域生活ができるよう必要な支援を行っていく。

2021 年度 グループホームさぼーと 事業報告

利用者が地域において共同して自立した日常生活や社会生活が送れるよう、利用者の置かれた状況に応じた援助を行い、経営理念である「自立した暮らしを応援します『for your good life』」に基づいた支援を行うべく事業を継続してきた。

2021 年度は利用者 2 名でのスタートとなった。関係機関との連携を密にしていたこともあり、問い合わせは多くいただいたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令などの影響で、新規利用の自粛や見学の延期などが相次いだ。その中でも 3 名の新規利用を受け入れることができた。各利用者に自立した生活を送ってもらうため、一人でできることを増やしてもらうために必要な支援を日々考えながら業務にあたった。また新型コロナウイルス対策として検温や体調管理、食堂へのアクリル板設置など基本的な感染対策を引き続き徹底した。その中でも新型コロナの影響で職員配置にも影響が出てしまい、業務時間の変更などにより利用者には迷惑をかけてしまったことは今後の課題でもある。

新型コロナの影響で行事等は行えなかったが、火災、津波を想定した避難訓練を 2 回開催し、避難経路の確認と消火訓練を行った。来年度については職員不在時を想定しての避難訓練も実施していく予定。今後も職員、利用者ともに日ごろからの防災意識の向上に努めていきたい。

毎月世話人会議を実施し、利用者の状況について情報共有を行ったが、生活支援員、世話人への情報共有の不徹底などの課題が浮き彫りになった。原因として利用当初のアセスメント不足と情報共有の遅滞などがあげられる。今後への対応として新規申し込み時のアセスメントを徹底し、より多くの情報収集を行い、情報共有のスピード化を図るなど業務の体系化を行っていく。

現状空室があるので、来年度も積極的に利用者の受け入れを行くとともに利用者一人一人に必要な支援が提供できる体制を整え、利用者やすい環境づくりを行い利用者満足度の向上に努めていきたい。

2021年度 ショートステイさぼーと 事業報告

利用者の身体及び精神の状況や置かれている状況に応じて相談、入浴、排泄又は食事の提供、その他必要な保護を適切かつ効果的に行うことを目的に、グループホームさぼーとの併設事業所として設置されたが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、今年度も実働には至っていない。

来年度は事業の実働ができるよう他機関への案内を強化するとともに、受け入れ職員体制を整えて実働に向けて準備を進めて行く。

2021年度 デイサービスセンターさぽーと 事業報告

◎ 事業の目的に対して

利用者・家族の望む生活の実現に向けて居宅サービス計画書をもとに地域での生活が維持出来るよう、生活意欲の向上を念頭にニーズの把握、残存能力の維持・向上に努めた。

◎ 利用者の推移

契約者数 31 人（2021 年 4 月時点）→36 人（2022 年 3 月時点）。

新規利用者総数 12 人。

◎ サービスの内容について

「心身ともに元気になれる」場所になるため、イベントと機能訓練に注力した。イベントでは、利用者が非日常を体験でき、単調な日々の生活に刺激を与え心が充実したものになるように努めた。

機能訓練では、理学療法士を外部より業務委託し、専門的な視点からより効果的な訓練を行い、利用者の身体機能が向上するように努めた。

◎ 来年度に向けて

機能訓練加算の継続。また、イベントもこれまで通り力を入れていき、機能訓練と両方が充実したサービスを提供し、「心身ともに元気になれる」楽しい場所になれるように努力を重ねていく。

令和3年度

デイサービスセンターみらくる

事業報告

<職員体制の変更>

介護職員：8名(常勤専従1名、常勤兼務1名、非常勤専従3名、
非常勤兼務3名)

※非常勤専従職員うち1名 9月～勤務

(11月～1名、産休・育休取得に伴い引継を行う)

デイさぼーと及び松永作業所と兼務職員、相談しながら協力体制をとっていった。

5/16～5/31：広島県 新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言発令に伴い
デイさぼーと兼務職員(機能訓練指導員1名、送迎職員1名)はデイさぼー
とのみ勤務とし、感染対策のための措置を講じる。

6/20まで期間延長に伴う対応：状況勘案しながら兼務職員は従来の勤務体
制に戻す。(高齢事業所と障害事業所の行き来は控える)

<利用者の推移>

4月は月延人数168人からのスタートとなり年間月平均152人。(最高値：3
月/169名)。ショートステイや入所への移行、入院等での利用中断も重なり日
平均6～7名止まりとなった。

毎月実績送付時及び電話等で空き状況をお知らせ、担当利用者の変調等あれ
ば報告・相談を行い、こまめな連携を心掛けている。

体験利用：8名(外ケアマネ：7名 内ケアマネ：1名)

新規契約者：4名(外ケアマネ：3名 内ケアマネ：1名)

終了者：5名(逝去及び他施設へ移行のため)

<事業運営>

引き続き感染症対策を講じながらの事業運営となる。こまめな検温・記録、
消毒や換気の励行、マスク着用の義務(※熱中症時期は別途対応をとりながら)、
三密の回避等対策を実施。職員のPCR受検・ワクチン接種及び対応研修にて認
識統一も行った。

内部研修：高齢部門合同で月1～2回実施。感染対策のためリモートでの開催
も適宜行った。

地域交流行事(大成館中学校職場体験)、運営推進会議とも前年度同様に中止と
なった。ほたるカフェ10,11月岩川参加。(密にならないような形で開催)

避難訓練：消防隊の派遣は引き続き控えており、6月,11月とも内々での実施。

行事：内部でできる、限られた内容となったが(夏祭り,運動会等)、例年とは
違う内容を企画、桜や紅葉の時期にはドライブを実施、おやつ作りや
創作活動で調理等の日常生活動作機会を設けていった。

2021年度居宅介護支援事業所さぼーと事業報告

1. 居宅介護支援について

I. 登録者及び給付管理

本年度はケアマネ2名（常勤1名、非常勤1名）で、常勤換算1.2人の体制で実施。3月末の登録（契約）者数は要介護者41名、給付管理者数は39名、要支援者14名、給付管理者数は13名となっている。1年を通じて死亡、入所等で終了者が9名となったが、新規利用者は10名あった。

II. 居宅介護支援業務等について

本年度も独居に加え生活困窮している利用者を支援する為、包括支援センターや行政、社会福祉協議会などの関係機関と連携し支援を実施した。必要な利用者に対しては公的扶助の申請を行った。これは国の推進する「地域包括ケアシステム」とも重なっており、利用者が地域で生きていく一助として居宅介護支援を実施した。

また、コロナ禍における特有の課題（遠方家族の帰省困難による介護困難・閉じこもり傾向・孤独感・ストレスの増加、関係の悪化・適切な医療介護不足等）に対しても考慮し、家族、主治医、周辺事業所と連携を行い支援を実施した。

2. 介護予防について

積極的に包括職員や地域の民生委員と連携をはかるように努めた。徐々に緩和されつつある状況の中で、コロナ禍において地域の中で中断していた活動への参加啓発を連携をはかりながら実施している。

また、予防プランを受託し、地域の中での役割を果たせるよう努力した。その中で包括支援センターより新たな要支援者、要介護者の紹介を受けた。

3. 来年度について

小規模事業所ならではの迅速な対応かつ丁寧に、利用者個々の状況を総合的に勘案し、包括支援センター、関係機関、関係事業所、地域などとの連絡・連携を深めていく。

新生活様式の中で、高齢者が地域で孤立化していく事なく、尊厳ある生活が送れるよう継続的な支援を行う。

2021年度 自立支援型共生ホームさぼーと事業報告

障がい者・高齢者が混在する形の中で、家庭的な雰囲気の中で暮らすことのより自立した生活を目指し、心身の状況に応じて可能な限り現有機能の活用を図り生活してもらう環境を提供することを目的として2021年度も運営していった。

2021年度は2部屋空室の状態スタートしたが、11月と3月に利用の契約をすることができ、満室で終わることができた。ホーム内での大きなトラブルもなく、基本的に自分のことは自分で行い、必要に応じてヘルパーや配食サービスなどを利用し自立した生活が送れている。ホーム内の清掃については週2回程度松永作業所に依頼し行ってもらい、また年2回のエアコンフィルター掃除なども行い、日ごろからの施設美化に努めた。また、今年度は11月に利用者全員参加の避難訓練を行い、避難経路の確認や利用者同士での声かけの重要性を確認した。今後も日ごろの防災意識向上のためにも定期的に行っていくとともに、南海トラフ地震を想定した訓練の実施も行っていきたい。

来年度も利用者の安定した生活が確保できるよう、必要に応じた介入が行えるよう情報収集と情報共有を行い、自立した地域生活の継続への関わりを強めていく。